

GX71 マークII他1G-GEU High-Performance Coil Direct Ignition Kit 取り付け説明書

商品内容：専用イグニッションコイル (TM00100+A) 6本、コントロールユニット (CPT012) 1個
1G-GEUコイルベースプレート3点セット(HPD121)、スルーコネクター (VH1028) 1個
タコメーター・12V電源変換ハーネス (HF)
1G-GEU専用ディスビキャップ (HPD125)、 FDI023専用ハーネス (FDI023H) 1本
M6X15 SUS WAボルト 6本、6X30 フランジボルト 3本、6X25フランジボルト 3本、M6X10高ナット 6個
M6 SUS SPワッシャー 6枚、M6X12フランジボルト 2本、M6フランジナット 3個
M6 SUS化粧ナット 5個、M5X12 SUS WAボルト 2本、アースケーブル 1.2m 1本
15Aヒューズホルダー(DP024) 1本、VSDL型アルミブラケット 1個
15mmエンドキャップ 1個、100mmタイラップ 8本、200mmタイラップ 6本、両面テープ 2枚

1、整備書に従い既定の点火時期に調整をしてください。



**本製品はGX71 1G-GEU後期型で型取りをしています。
GZ10ソアラ後期型などコネクター形状が異なる場合
装着できませんのでご注意ください。**

2、インテークパイプ・ハイテンションコード・センタープレートを外してください。



3、コイルベースプレートセットの前方向1番・2番・3番の裏側に補強プレート・6X30フランジボルトの順で入れ、4番・5番・6番には6X25フランジボルトを入れてM6 SUS SPワッシャー・10mm高ナットにて固定してください。



4、コイルベースプレートをM5X10SUSボルトにて接続し、M6X15WAボルトにてヘッドカバーに固定してください。



T.M.WORKS

5、イグニッションコイルをしっかりと差し込み付属のM6化粧ナット/M6フランジナットで固定してください。



1.2.3.5.6番には化粧ナットを使用してください。

4番にはインテークパイプとの接触を避けるため、M6フランジナットを使用してください。

6、コイルハーネスを差し込んでください。



7、インテークパイプを取付けてください。

車両により純正インテークパイプのプラグコード固定部がコイルに当たる場合には、カットしてください。

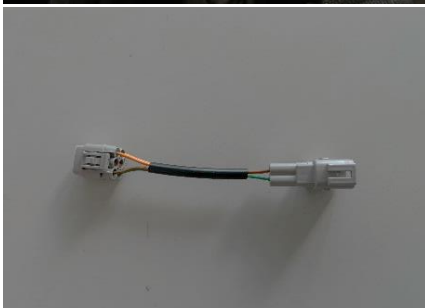


8、イグナイター4Pコネクタを抜き、HPD107-Z (タコメーター・信号ハーネス) 4ピンコネクタを接続してください。



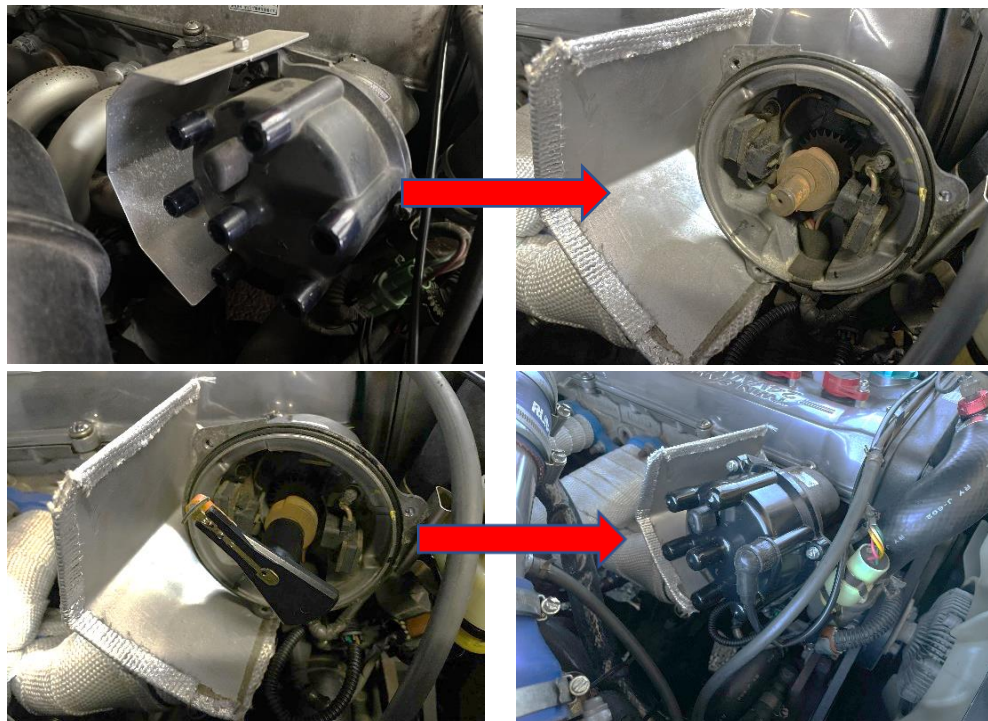
イグナイター側からのコネクタは使用しません。

(HPD107-Z)



9、ディスビキャップとローターを外し、付属のディスビローター（HPD126）とディスビキャップ（HPD125）を取り付けてください。

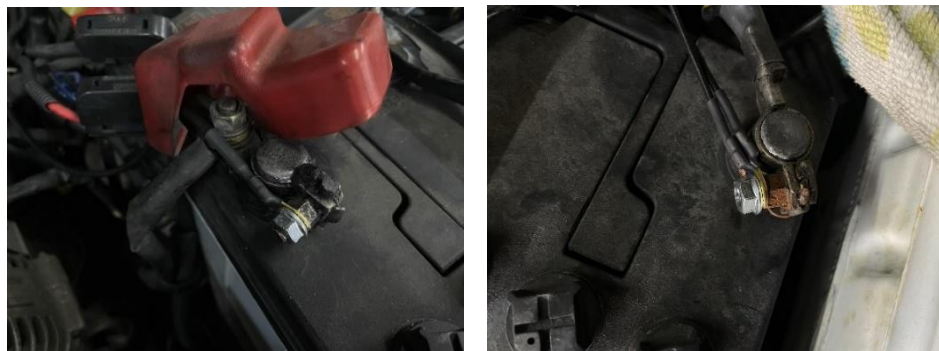
No,3



10、イグニッションコイルに付属のエンドキャップを被せてください。
この時、抜け防止のためエアを抜きながらキャップを取付けてください。



11、ヒューズホルダー（DP024）赤線をバッテリープラスターミナルへ
黒線とアースケーブルをボディアースポイント又はバッテリーマイナスターミナルに
それぞれ接続してください。

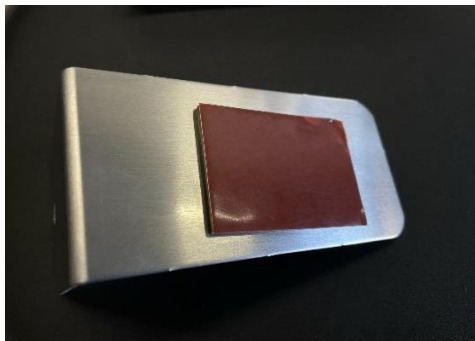


12、アースケーブルの片側をインテークマニホールドのアースポイントに固定してください。



T.M.WORKS

13、VSDL型アルミブラケット両面テープ2枚を重ね貼りし、コントロールユニットを貼り付けてください。



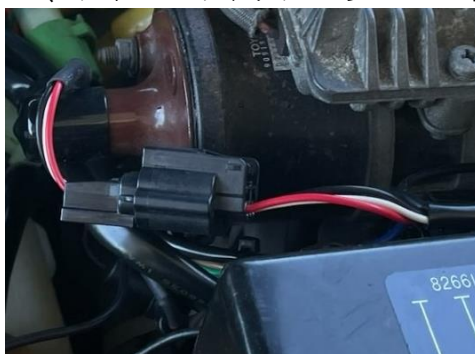
14、ヒューズホルダー(DP024)とコントロールユニットの赤線平ギボシを接続してください。



15、コントロールユニットとコイルハーネス・6P点火信号ハーネスをそれぞれ接続してください。



16、ディスクキャップからの3Pコネクターとコントロールユニットの3Pコネクターを接続してください。



17、M6フランジボルトにてステーを固定してください。



18、ハーネスをまとめ、タイラップで固定してください。

No,5



19、エンジンを始動し、異常のないことを確認して作業完了です。



注意事項



本製品取り付け時には必ずスパークプラグも新品に同時交換してください。



取り外した部品は、ノーマルに戻す際に必要となりますので大切に保管してください。